

東海道新幹線のビジネス環境の整備について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機として、ICTを活用したテレワークやWeb会議といった働く場所を選ばない新しい働き方が広がっています。

こうした働き方の変化を踏まえ、東海道新幹線をご利用される際に、乗車前後を通してシームレスに仕事ができるなど、お客様のワークスタイルに応じた移動時間をお過ごしいただけるように、駅や車内のビジネス環境を整備してまいります。

1. 取り組み内容（別紙1～4）

（1）「S Work車両」の試行

- ・「のぞみ」の7号車を、モバイル端末等を気兼ねなく使用して仕事を進めたいお客様向けに「S Work車両」として設定します。
- ・「S Work車両」は、EXサービス（「エクスプレス予約」・「スマートEX」）の専用商品として発売し、EXサービスで普通車指定席をご予約される場合と同額でご利用いただけます。
- ・N700Sの「S Work車両」では、ビジネスサポートツールを無料で貸し出します。

開始時期 令和3年10月1日（9月1日より予約開始）

（2）新しい無料Wi-Fiサービス「S Wi-Fi for Biz」の開始

- ・N700Sの7号車・8号車にて、従来の「Shinkansen Free Wi-Fi」に加え、約2倍の通信容量を備えた新しい無料Wi-Fiサービスを開始します。

開始時期 令和3年10月以降順次

（3）N700S車内への「ビジネスブース」の試験導入

- ・N700Sの7・8号車間（デッキ部）の「喫煙ルーム」を改造し、打ち合わせなどで一時的にご利用になれる「ビジネスブース」を試験的に導入します。

開始時期 令和4年春以降順次

（4）駅待合室の改良

- ・東京駅、名古屋駅、新大阪駅の一部の待合室に、無料の半個室タイプのビジネスコーナーとコンセントポールを整備します。

開始時期 令和3年9月以降順次

(5) EXサービス会員向けワークスペース事業（「EXPRESS WORK」）開始

- ・ 東海道新幹線の一部の駅に個室のワークスペース（BOX型）を設置するとともに、東京駅直結の「丸の内中央ビル」に個室や会議室を備えたワークスペース（オフィス型）を展開します。
- ・ 「EXPRESS WORK」は、EXサービス会員のお客様に有料でご利用いただけます。

開始時期 令和3年12月上旬

2. その他

- ・ 東海道新幹線をビジネスでご利用されるお客様をサポートする様々な取り組みについて、特設サイトでお知らせします。

<https://recommend.jr-central.co.jp/shinkansenbusiness/>



(1)「S Work車両」の試行（令和3年10月1日開始）※9月1日より予約開始

- ・東海道・山陽新幹線(16両編成)のぞみ列車の7号車(普通車)を、モバイル端末等を気兼ねなく使用して仕事を進めることができる「S Work車両」として設定します。



「S Work車両」ロゴ

※「S Work」:新幹線(Shinkansen)でシームレス(Seamless)に仕事(Work)を。

- ・「S Work車両」の指定席は、EXサービスの専用商品として発売し、EXサービスで普通車指定席をご予約される場合と同額でご利用いただけます。
- ・東海道区間のN700Sの「S Work車両」では、ビジネスサポートツールを無料で貸し出します。

N700S専用
サービス

①膝上クッション



②簡易衝立



③PC用ACアダプタ



④USB充電器



⑤小型マウス



※左のツールは一例です
※数には限りがあります
※写真はイメージです

※株式会社INFORICHにより、東京、品川、新横浜、名古屋、京都、新大阪の各駅にて、モバイルバッテリーの貸し出しサービスを10月1日より提供します。
(サービス名:「ChargeSPOT」:有料)

(2) 新しい無料Wi-Fiサービス「S Wi-Fi for Biz」の開始（令和3年10月以降順次）

N700S専用
サービス

- ・N700Sの7号車（普通車）及び8号車（グリーン車）にて、新たな無料Wi-Fiサービス「S Wi-Fi for Biz」（Shinkansen Free Wi-Fi for Business）を導入します。
- ・従来の約2倍の通信容量を備え、利用時間の制限等も設けません。また、ビジネスでのご利用も考慮し、暗号化を設定します。

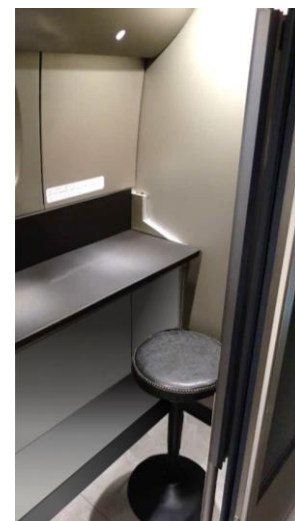
「S Wi-Fi for Biz」
ロゴ

- ※従来の「Shinkansen Free Wi-Fi」サービスも引き続きご利用いただけます。
- ※「S Wi-Fi for Biz」接続時に最初にアクセスするポータルサイトは、従来の「Shinkansen Free Wi-Fi」のポータルサイトとは異なります。

(3) N700S車内への「ビジネスブース」の試験導入（令和4年春以降順次）

N700S専用
サービス

- ・N700Sの7・8号車間（デッキ部）の「喫煙ルーム」を改造し、打ち合わせなどにご利用いただける「ビジネスブース」を一部の編成に試験的に導入します。
- ・「ビジネスブース」は周囲を気にすることなく、短時間の打ち合わせなどにご利用いただけます。

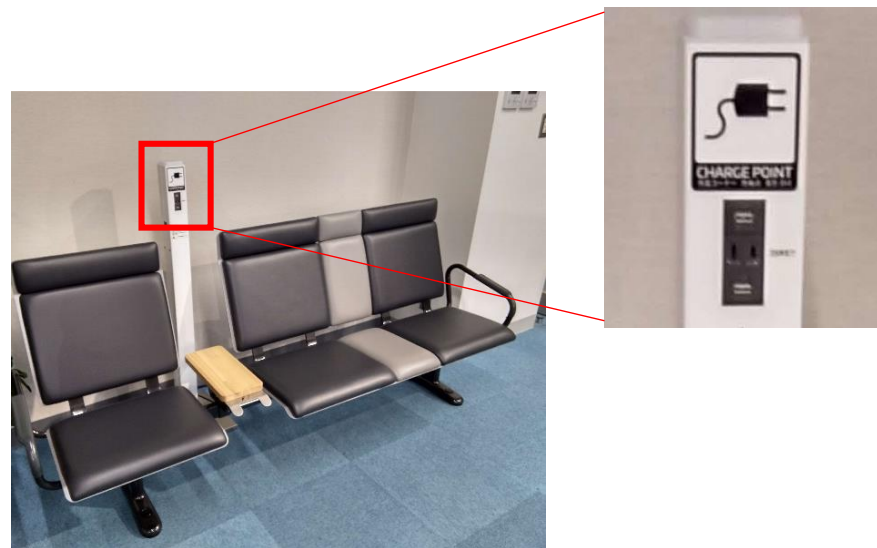
ビジネスブース
（イメージ）

- ※試験導入に先立ち、東海道・山陽新幹線(16両編成)では、7・8号車間（デッキ部）の「喫煙ルーム」は来春をめどに終了する予定です。詳細は改めてお知らせします。

(4) 駅待合室の改良（令和3年9月以降順次）



ビジネスコーナーのイメージ



コンセントポールのイメージ

- ・東京、名古屋、新大阪駅の一部の待合室に、無料の半個室タイプのビジネスコーナーとコンセントポールを整備します。
- ・ビジネスコーナーは、半個室のブースのため、周りの目を気にせず仕事をしていただけます。

(整備駅)

東京駅:ビジネスコーナー 5席、コンセントポール 3箇所

名古屋駅:ビジネスコーナー 5席、コンセントポール 5箇所

新大阪駅:ビジネスコーナー 4席、コンセントポール 5箇所

(5) EXサービス会員向けワークスペース事業(「EXPRESS WORK」)(令和3年12月上旬)

- ・東海道新幹線をご利用される前後に、個室での作業や複数人での打ち合わせなど、様々なビジネスシーンに合わせてご利用いただけるように、一部の駅にワークスペース(BOX型・オフィス型)を展開します。(有料)



① EXPRESS WORK－Booth(BOX型)

- ・個室で集中して仕事をしたり、周囲を気にせずWeb会議を行いたいお客様向け

(設置箇所) 東京駅: 2台

名古屋駅: 2台、JRセントラルタワーズ15階: 4台

京都駅: 2台、新大阪駅: 2台



② EXPRESS WORK－Lounge(オフィス型)

- ・複数人での打ち合わせや、落ち着いた空間で仕事に集中したいお客様向け

(設置箇所) 「丸の内中央ビル」内(東京駅直結ビル)



(オープン席)
明るく開放的なスペース。
通話、会話可能で、複数
人での打ち合わせにも
ご利用いただけます。



(個室席)
Web会議や周囲
を気にせず作業
したいときに便利
です。



(会議室)
複数人の打ち
合わせなどで
ご利用いただ
けます。

※画像は全てイメージです